

ごあいさつ



磯子区制90周年記念事業
実行委員会委員長
高田 誠

磯子区制90周年、誠におめでとうございます。磯子区が誕生して90年。これもひとえに区民の皆様や各種団体、企業の御支援、御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

磯子区制90周年記念事業実行委員会では、この記念すべき年を皆様と一緒に祝いしたいと思い、10月1日の記念式典や磯子まつり、そして前日祭に取り組んできました。

地域、各種団体、企業におかれましては、様々な事業を展開していただいたことにより、幅広い世代の方々が、私たちのまち・磯子に思いを馳せ、さらに人とのつながりを感じられたと思います。

磯子区は、その名が表すように、かつては風光明媚な別荘地や海水浴場として有名であり、海苔の養殖も盛んでした。華やかで賑わいある磯子区に生まれ育った私にとって、自然を残しながら大きく発展してきたこのまちに、地域のつながり、人の温かさ―ぬくもりが今でも継続していることを嬉しく思います。

90年の磯子の歴史を未来につなげ、10年後、20年後も磯子区が希望に満ち溢れたまちであることを願っています。

皆様の御多幸と御健勝を心より御祈念申し上げます。



横浜市長
林 文子

このたび磯子区が区制90周年の節目を迎えるにあたり、日頃より区政・市政に大変大きな御支援をくださっている区民、団体・企業等の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

磯子区は、区制が施行された昭和2年に、最初に誕生した5区の一つです。古くからのまち並みと潤いある住宅地、活力に満ちた商業地と臨海部の工業地帯、更には緑豊かな丘陵地など、多様性に満ちた魅力的なまちへと発展を遂げることができましたのは、ひとえに区民の皆様の御尽力とお力添えによるものです。

さて横浜市は今後、2019年にラグビーワールドカップの決勝戦、第7回アフリカ開発会議の開催を控えており、翌年の2020年にはオリンピック・パラリンピックで世界からのお客様をお迎えします。皆様と育んできた横浜の魅力を広く発信し、心豊かな横浜のまちを未来へと引き継いでいきたいと願っております。

今後も、皆様に「磯子区に、横浜市に住んでよかった」と実感していただけるよう、温もりあるまちづくりを進めてまいりますので、変わらぬ御理解、御協力をお願いいたします。

磯子区の皆様が今後ますますの御健勝と御多幸を、心より祈念申し上げます。



磯子区長
小林 正幸

このたび、磯子区は区制90周年を迎えました。日頃より、区政に御支援、御協力を頂いております区民の皆様や各種団体・企業の皆様に、心より感謝申し上げます。

磯子区は今日まで先人の努力により、めざましい発展を遂げてきました。風光明媚な海辺の町は我が国を代表する臨海工業地帯へと生まれ変わり、また昔からのまち並みや商店街は、これを継承しつつ、新たに潤いのある住宅地も開発されてきました。一方、古代の遺跡や豊かな緑など、憩いの空間も残されています。

そして今日皆様が磯子を愛し、地域での「つながり」と「支え合い」を大切にし、住みよまを築きあげていただいていることを、大変ありがたく感じております。

「海輝き人も輝く未来の磯子 90年のありがとう」に込められた思いとして、磯子を創り上げてこられた先人に心より敬意を表するとともに、今日の磯子区を支えていただいている皆様に改めて感謝申し上げます。次の100周年に向け、未来を担う子どもたちが健やかに成長し、笑顔で輝きながら活躍できる、そんなまちづくりを進めてまいります。皆様には引き続き、区政への御理解、御協力を願います。

皆様の御多幸と御健勝を祈念申し上げます。